

高島の夏の記憶を、未来へつなぐ。

小樽高島花火、1万発へ

新たな歩みの2年目

——— 視界を飲み込む包まれる花火体験 ———

2026年8月8日（土）、北海道小樽市高島地区にて「第2回 小樽高島花火」を開催いたします。
開催2年目となる今年は、去年の約4,500発から約10,000発へと大幅に規模を拡大します。

会場となる高島地区の港湾エリアでは、約300mの幅を活かしたワイドな打ち上げに加え、海上で開く水中花火を間近で観覧できます。

港町・高島ならではの地形を活かした、会場でしか味わえない迫力ある花火大会です。

去年は、新たな一步の年。 今年は、続けていくための挑戦の年です。

また、本大会では、故人を偲ぶ追善供養や、大漁・海上安全を祈願するメッセージ花火など、地域に根ざした花火大会ならではの文化も大切にしています。

高島の花火は、単なるエンターテインメントではなく、地域の記憶や祈りを未来へつなぐ場でもあります。

今年は、来場者の安全確保や混雑緩和、より快適な観覧環境づくりを目指し、全席指定・完全有料制で開催します。

これは単なる運営方法の変更ではありません。

昨年から始まったこの花火を一過性のものにせず、これからも続く地域の夏の風物詩として育てていくための挑戦です。

チケット収入は、安全対策をはじめとする大会運営費に充当し、今後も高島の花火を継続していくための基盤づくりにつなげてまいります。

小樽高島花火は、1万発の大規模花火であると同時に、一度途絶えた地域の記憶を、地域の力で未来へつなぐ花火大会です。

地域住民、地元企業、ボランティア、来場者の皆さまとともに、高島の夏の風物詩を次の世代へ残していくことを目指します。

今年の見どころ



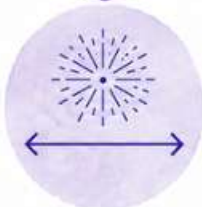
01



**開催2年目で
約10,000発へ**

昨年約4,500発から
約10,000発へ
大幅拡大。
地域の夏の風物詩として、
未来へつなぎます。

02



**約300mの
ワイド打ち上げ**

港湾エリアの地形を活かし、
約300mの幅から打ち上げ。
夜空と海を使った
ワイドな迫力をお届けします。

03



**海上で開く
水中花火**

海面に広がる光と
音の迫力。
港町・高島でしか
味わえない
特別な体験です。

04



**地域に根ざした
メッセージ花火**

追善供養・大漁祈願・
海上安全祈願 など、
地域の記憶や祈りを
未来へつなぎます。

05



**全席指定・
完全有料制による挑戦**

安全で快適な環境を
提供し、花火大会の
継続と地域の未来を
支えます。

松岩一輝 副実行委員長コメント

昨年は、多くの皆さまのご協力により、高島で花火を打ち上げることができました。

ただ、私たちは一度開催することがゴールと考えていません。

大切なのは、この花火をこれからも続く地域の夏の風物詩として育てていくことです。

今年は開催2年目の挑戦として、約1万発の花火に規模を拡大し、全席指定・完全有料制による安全で快適な観覧環境づくりにも取り組みます

。高島の花火には、亡くなった方を偲ぶ想いや、海の安全、大漁を願う港町ならではの祈りが込められています。

地域の皆さま、地元企業、ボランティア、そして来場者の皆さまとともに、この花火を未来へつないでいきたいと考えています。



開催概要

イベント名 第2回 小樽高島花火

開催日：2026年8月8日（土）

開催場所：北海道小樽市高島地区

小樽市公設水産地方卸売市場 岸壁周辺

打ち上げ数：約10,000発

主な内容：約300mのワイド打ち上げ、水中花火、メッセージ花火 ほか

観覧方式：全席指定・完全有料制

主催：小樽高島花火実行委員会

チケット：販売中

公式サイト／チケット購入 URL :<https://takashima-hanabi.com/>

取材について

小樽高島花火実行委員会では、事前取材および当日の取材を受け付けております。

取材可能な内容は以下の通りです。

- ・ 実行委員会へのインタビュー
- ・ 開催に向けた経緯
- ・ 地域住民・地元企業との連携
- ・ 港町・高島の会場風景と、港から立ち上がり、頭上いっぱいに広がる花火打ち上げシーン

取材をご希望の報道関係者の皆さまは、下記問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ先：広報担当 中野（080-8568-1362）